

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間（2014年1月24日～2024年1月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	資産成長コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	資産成長コース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	通貨αコース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド （資産成長コース／通貨αコース）

### 運用報告書（全体版）

資産成長コース	第11期（決算日 2019年7月17日）
	第60期（決算日 2019年2月18日）
	第61期（決算日 2019年3月18日）
	第62期（決算日 2019年4月17日）
	第63期（決算日 2019年5月17日）
通貨αコース	第64期（決算日 2019年6月17日）
	第65期（決算日 2019年7月17日）
（作成対象期間 2019年1月18日～2019年7月17日）	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

〔資産成長コース〕は、新興国の現地通貨建債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざし、〔通貨αコース〕は、新興国の現地通貨建債券への分散投資とオプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5620>

<5621>

資産成長コース

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
7期末(2017年7月18日)	10,101	10	6.3	10,979	9.9	—	98.9	1,346
8期末(2018年1月17日)	10,297	10	2.0	11,398	3.8	—	99.3	1,154
9期末(2018年7月17日)	9,626	10	△ 6.4	10,701	△ 6.1	—	99.0	897
10期末(2019年1月17日)	9,421	10	△ 2.0	10,559	△ 1.3	—	99.1	824
11期末(2019年7月17日)	9,814	10	4.3	11,203	6.1	—	99.2	783

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

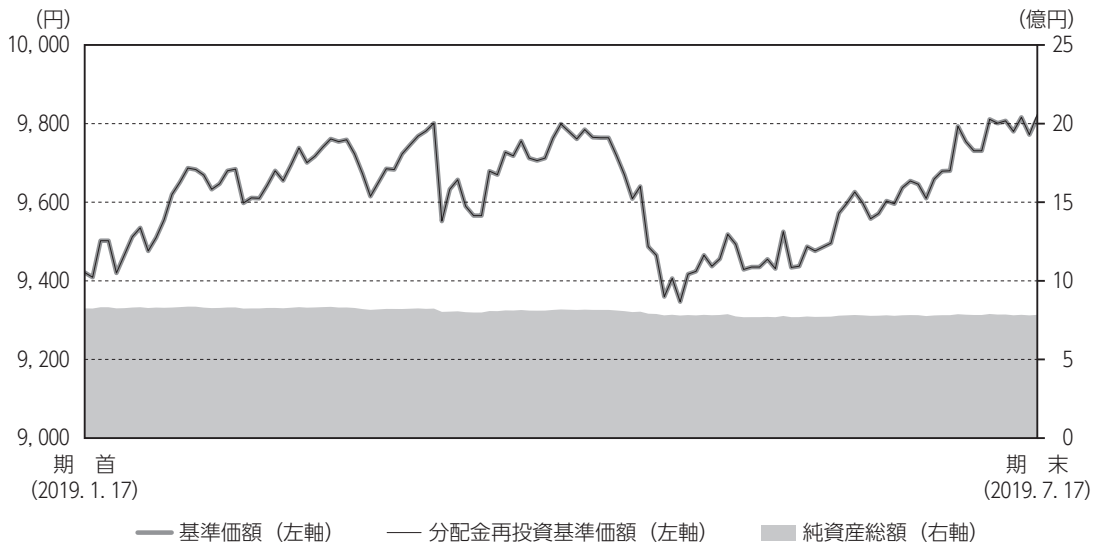
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

期首：9,421円

期末：9,814円（分配金10円）

騰落率：4.3%（分配金込み）

### 基準価額の主な変動要因

債券の利息収入や債券価格の上昇（金利は低下）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

年 月 日	基 準 価 額		J.P.モルガン GBI-EEM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首) 2019年 1月17日	9,421	—	10,559	—	—	99.1
1月末	9,555	1.4	10,645	0.8	—	99.1
2月末	9,717	3.1	10,934	3.5	—	99.5
3月末	9,566	1.5	10,735	1.7	—	99.3
4月末	9,609	2.0	10,814	2.4	—	98.5
5月末	9,525	1.1	10,590	0.3	—	99.4
6月末	9,679	2.7	11,007	4.2	—	99.6
(期末) 2019年 7月17日	9,824	4.3	11,203	6.1	—	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2019. 1. 18 ~ 2019. 7. 17）

## ■新興国債券市況

新興国債券市場では、個別国要因に加え、世界的な金利低下の影響を受ける展開となりました。

## ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、2019年3月末に行われた地方選挙に関して、エルドアン大統領の要求によって一部再選挙が行われたことによりトルコの民主主義に対する懸念が台頭したことや、ロシアと軍事的協力を進めたことで米国との関係悪化懸念が高まったことなどにより、金利が上昇しました。当ファンドで組み入れていた2019年3月上旬までの南アフリカについては、金利はほぼ横ばいとなりました。ロシアおよび当ファンドで組み入れを始めた3月上旬以降のポーランドでは、世界的な金利低下の影響などにより金利は低下しました。

## ・ アジア地域

インドネシア、フィリピン、インドでは世界的な金利低下の影響を受け、金利は低下しました。なお、インドネシアやインドでは大統領選挙や議会選挙が実施され、現職の大統領や与党が信任を得る結果となりました。

## ・ 中南米地域

ブラジルでは、年金改革への進展期待から金利は低下しました。メキシコおよびペルーでは、世界的な金利低下の影響を受け、金利は低下しました。なお、メキシコでは2019年5月末にトランプ米国大統領がメキシコからの全輸入品に関税をかけると発言したものの、それが無期限延期となったことが市場で好感されたことも、金利低下圧力となりました。

## ■為替相場

新興国の為替相場は、個別国要因に加えて、米中貿易摩擦への懸念や米国の利下げ観測の高まりなどに左右されつつ、国によってまちまちな展開となりました。

## ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、米国との関係悪化懸念の高まりなどにより、対円で下落しました。当ファンドで組み入れていた2019年3月上旬までの南アフリカ・ランドは、国営電力会社による大規模停電が発生したことで南アフリカ経済への懸念が高まったことなどから、対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、原油価格の上昇などから対円で上昇しました。当ファンドで組み入れを始めた3月上旬以降のポーランド・ズロチは、米中貿易摩擦への懸念から市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどを背景に、対円で下落しました。

・アジア地域

インドネシア・ルピアやインド・ルピーは、各国で行われた選挙において現職の大統領や与党が信任を得る結果となったことで政治的な安定への期待が高まり、対円で上昇しました。フィリピンにおいても、統一国政・地方選挙で現職のドゥテルテ大統領を支持する勢力が圧勝したことなどによる政治的な安定への期待から、フィリピン・ペソは対円で上昇しました。

・中南米地域

ブラジル・リアルやメキシコ・ペソは、米中貿易摩擦への懸念から市場のリスク回避的な姿勢が強まり円高傾向となったことなどを背景に、対円で下落しました。ペルー・ソルは、2019年1月から4月にかけて市場のリスク回避的な姿勢が後退し世界的に株価が上昇した際に、対円で上昇しました。その後、米中貿易摩擦への懸念から市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどを背景に、対円での上昇幅を縮小させました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

### ■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2019. 1. 18 ~ 2019. 7. 17)

### ■当ファンド

当作成期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域では、トルコ・リラ、ロシア・ルーブルへの投資を継続したほか、当作成期中に南アフリカ・ランドからポーランド・ズロチへ通貨を入れ替え、投資を行いました。アジア地域においてはインドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピーに、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルにそれぞれ投資を行いました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。

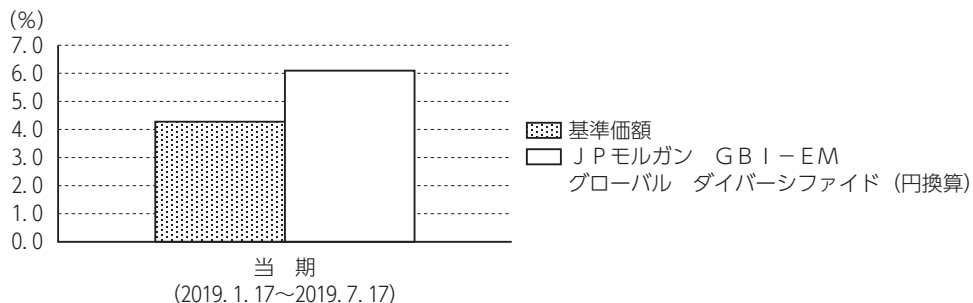
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年1月18日 ～2019年7月17日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>10</b>
対基準価額比率	（％）	0.10
当期の収益	（円）	10
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	3,629

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
 (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。  
 (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 325.05円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	54.08
(d) 分配準備積立金	3,260.09
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,639.23
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,629.24

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 1. 18～2019. 7. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	55円	0.576%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,626円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0.161)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.402)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	56	0.579	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

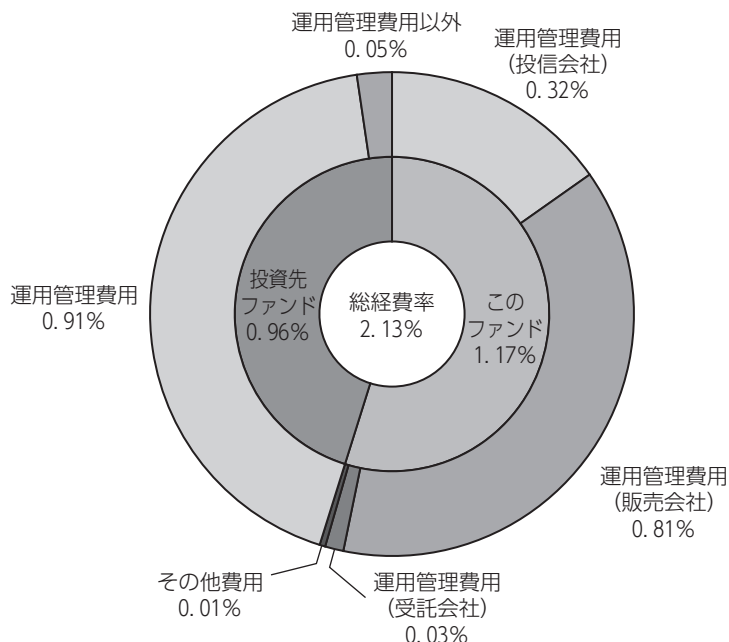
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.13%
①このファンドの費用の比率	1.17%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.91%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	422.92609	30,860	1,062.86039	78,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
(注2) 金額は受渡し代金。  
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

当 期				期 付			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)	1,062.86039	78,000	73

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

区 分	当 期			期 末		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	350	350	100.0	—	—	—
コール・ローン	8,322,217	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	119,999	—	—	119,999	—	—

平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		比 率
	□ 数	評価額	
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS	10,581.9053	777,293	99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

## (2) 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口	千口	千口	千円
	33	33	33	34

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2019年7月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 777,293	% 98.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	34	0.0
コール・ローン等、その他	11,721	1.5
投資信託財産総額	789,049	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年7月17日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>789,049,312円</b>
コール・ローン等	11,721,178
投資信託受益証券（評価額）	777,293,853
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	34,281
<b>(B) 負債</b>	<b>5,457,676</b>
未払収益分配金	798,425
未払信託報酬	4,627,046
その他未払費用	32,205
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>783,591,636</b>
元本	798,425,808
次期繰越損益金	△ 14,834,172
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>798,425,808口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	9,814円

\* 期首における元本額は875,429,934円、当作成期間中における追加設定元本額は423,907円、同解約元本額は77,428,033円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,814円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は14,834,172円です。

## ■損益の状況

当期 自 2019年1月18日 至 2019年7月17日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>29,707,432円</b>
受取配当金	29,709,917
受取利息	2
支払利息	△ 2,487
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>7,159,945</b>
売買益	7,963,116
売買損	△ 803,171
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 4,659,297</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>32,208,080</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 48,659,346</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>2,415,519</b>
（配当等相当額）	（ 4,318,588）
（売買損益相当額）	（△ 1,903,069）
<b>(G) 合計（D＋E＋F）</b>	<b>△ 14,035,747</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 798,425</b>
<b>次期繰越損益金（G＋H）</b>	<b>△ 14,834,172</b>
追加信託差損益金	2,415,519
（配当等相当額）	（ 4,318,588）
（売買損益相当額）	（△ 1,903,069）
分配準備積立金	285,449,300
繰越損益金	△ 302,698,991

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	25,952,970円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	4,318,588
(d) 分配準備積立金	260,294,755
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	290,566,313
(f) 分配金	798,425
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	289,767,888
(h) 受益権総口数	798,425,808口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
36期末(2017年2月17日)	6,703	80	1.9	10,316	3.2	0.0	99.6	4,827
37期末(2017年3月17日)	6,691	80	1.0	10,474	1.5	0.0	99.6	4,690
38期末(2017年4月17日)	6,477	80	△ 2.0	10,120	△ 3.4	0.0	99.5	4,320
39期末(2017年5月17日)	6,661	80	4.1	10,803	6.7	0.0	99.3	4,295
40期末(2017年6月19日)	6,498	80	△ 1.2	10,752	△ 0.5	0.0	98.0	3,989
41期末(2017年7月18日)	6,533	80	1.8	10,979	2.1	—	98.0	3,825
42期末(2017年8月17日)	6,422	80	△ 0.5	10,841	△ 1.3	—	98.7	3,659
43期末(2017年9月19日)	6,437	80	1.5	11,249	3.8	—	98.9	3,531
44期末(2017年10月17日)	6,304	80	△ 0.8	11,158	△ 0.8	—	98.9	3,314
45期末(2017年11月17日)	6,135	80	△ 1.4	10,933	△ 2.0	—	99.1	3,139
46期末(2017年12月18日)	6,141	80	1.4	11,103	1.6	—	98.8	3,033
47期末(2018年1月17日)	6,141	80	1.3	11,398	2.7	—	98.6	2,986
48期末(2018年2月19日)	5,923	80	△ 2.2	11,177	△ 1.9	—	99.5	2,811
49期末(2018年3月19日)	5,792	55	△ 1.3	10,986	△ 1.7	—	99.7	2,728
50期末(2018年4月17日)	5,729	55	△ 0.1	11,158	1.6	—	99.6	2,593
51期末(2018年5月17日)	5,589	55	△ 1.5	10,784	△ 3.4	—	99.2	2,484
52期末(2018年6月18日)	5,379	55	△ 2.8	10,406	△ 3.5	—	99.0	2,340
53期末(2018年7月17日)	5,401	55	1.4	10,701	2.8	—	99.2	2,308
54期末(2018年8月17日)	5,055	55	△ 5.4	10,084	△ 5.8	—	99.1	2,142
55期末(2018年9月18日)	4,927	55	△ 1.4	10,064	△ 0.2	—	99.3	2,049
56期末(2018年10月17日)	5,000	55	2.6	10,415	3.5	—	99.2	2,032
57期末(2018年11月19日)	5,064	40	2.1	10,467	0.5	—	99.1	2,012
58期末(2018年12月17日)	5,007	40	△ 0.3	10,494	0.3	—	99.2	1,952
59期末(2019年1月17日)	4,952	40	△ 0.3	10,559	0.6	—	99.0	1,898
60期末(2019年2月18日)	4,988	40	1.5	10,779	2.1	—	99.5	1,878
61期末(2019年3月18日)	5,008	40	1.2	10,931	1.4	—	99.3	1,849
62期末(2019年4月17日)	4,976	40	0.2	11,015	0.8	—	99.5	1,809
63期末(2019年5月17日)	4,815	40	△ 2.4	10,630	△ 3.5	—	99.6	1,739
64期末(2019年6月17日)	4,828	40	1.1	10,827	1.9	—	98.9	1,689
65期末(2019年7月17日)	4,903	40	2.4	11,203	3.5	—	99.4	1,694

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

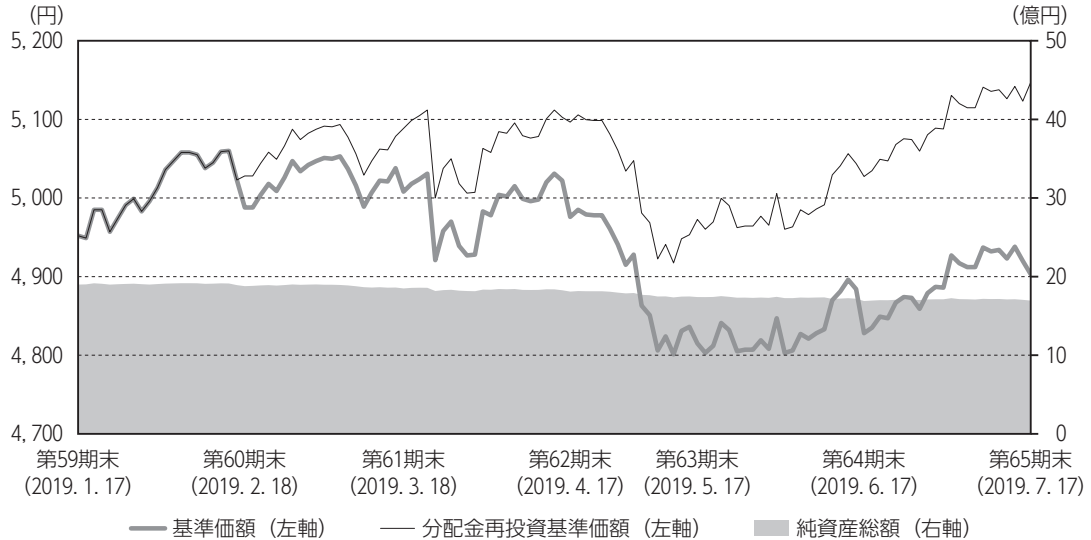
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第60期首：4,952円

第65期末：4,903円（既払分配金240円）

騰落率：3.9%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

通貨オプション取引によるプレミアム収入、債券の利息収入、債券価格の上昇（金利は低下）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
		円	%		%	%	%
第60期	(期首) 2019年 1月17日	4,952	—	10,559	—	—	99.0
	1月末	5,013	1.2	10,645	0.8	—	99.1
	(期末) 2019年 2月18日	5,028	1.5	10,779	2.1	—	99.5
第61期	(期首) 2019年 2月18日	4,988	—	10,779	—	—	99.5
	2月末	5,042	1.1	10,934	1.4	—	99.5
	(期末) 2019年 3月18日	5,048	1.2	10,931	1.4	—	99.3
第62期	(期首) 2019年 3月18日	5,008	—	10,931	—	—	99.3
	3月末	4,927	△ 1.6	10,735	△ 1.8	—	99.0
	(期末) 2019年 4月17日	5,016	0.2	11,015	0.8	—	99.5
第63期	(期首) 2019年 4月17日	4,976	—	11,015	—	—	99.5
	4月末	4,915	△ 1.2	10,814	△ 1.8	—	98.1
	(期末) 2019年 5月17日	4,855	△ 2.4	10,630	△ 3.5	—	99.6
第64期	(期首) 2019年 5月17日	4,815	—	10,630	—	—	99.6
	5月末	4,847	0.7	10,590	△ 0.4	—	99.4
	(期末) 2019年 6月17日	4,868	1.1	10,827	1.9	—	98.9
第65期	(期首) 2019年 6月17日	4,828	—	10,827	—	—	98.9
	6月末	4,887	1.2	11,007	1.7	—	99.2
	(期末) 2019年 7月17日	4,943	2.4	11,203	3.5	—	99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

（2019. 1. 18 ~ 2019. 7. 17）

## ■新興国債券市況

新興国債券市場では、個別国要因に加え、世界的な金利低下の影響を受ける展開となりました。

## ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、2019年3月末に行われた地方選挙に関して、エルドアン大統領の要求によって一部再選挙が行われたことによりトルコの民主主義に対する懸念が台頭したことや、ロシアと軍事的協力を進めたことで米国との関係悪化懸念が高まったことなどにより、金利が上昇しました。当ファンドで組み入れていた2019年3月上旬までの南アフリカについては、金利はほぼ横ばいとなりました。ロシアおよび当ファンドで組み入れを始めた3月上旬以降のポーランドでは、世界的な金利低下の影響などにより金利は低下しました。

## ・ アジア地域

インドネシア、フィリピン、インドでは世界的な金利低下の影響を受け、金利は低下しました。なお、インドネシアやインドでは大統領選挙や議会選挙が実施され、現職の大統領や与党が信任を得る結果となりました。

## ・ 中南米地域

ブラジルでは、年金改革への進展期待から金利は低下しました。メキシコおよびペルーでは、世界的な金利低下の影響を受け、金利は低下しました。なお、メキシコでは2019年5月末にトランプ米国大統領がメキシコからの全輸入品に関税をかけると発言したものの、それが無期限延期となったことが市場で好感されたことも、金利低下圧力となりました。

## ■為替相場

新興国の為替相場は、個別国要因に加えて、米中貿易摩擦への懸念や米国の利下げ観測の高まりなどに左右されつつ、国によってまちまちな展開となりました。

## ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、米国との関係悪化懸念の高まりなどにより、対円で下落しました。当ファンドで組み入れていた2019年3月上旬までの南アフリカ・ランドは、国営電力会社による大規模停電が発生したことで南アフリカ経済への懸念が高まったことなどから、対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、原油価格の上昇などから対円で上昇しました。当ファンドで組み入れを始めた3月上旬以降のポーランド・ズロチは、米中貿易摩擦への懸念から市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどを背景に、対円で下落しました。

・アジア地域

インドネシア・ルピアやインド・ルピーは、各国で行われた選挙において現職の大統領や与党が信任を得る結果となったことで政治的な安定への期待が高まり、対円で上昇しました。フィリピンにおいても、統一国政・地方選挙で現職のドゥテルテ大統領を支持する勢力が圧勝したことなどによる政治的な安定への期待から、フィリピン・ペソは対円で上昇しました。

・中南米地域

ブラジル・リアルやメキシコ・ペソは、米中貿易摩擦への懸念から市場のリスク回避的な姿勢が強まり円高傾向となったことなどを背景に、対円で下落しました。ペルー・ソルは、2019年1月から4月にかけて市場のリスク回避的な姿勢が後退し世界的に株価が上昇した際に、対円で上昇しました。その後、米中貿易摩擦への懸念から市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどを背景に、対円での上昇幅を縮小させました。

■為替ボラティリティ相場

新興国通貨の対円ボラティリティは、おおむね低下しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の獲得をめざします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

（2019. 1. 18 ~ 2019. 7. 17）

## ■当ファンド

当作成期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

## ■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域では、トルコ・リラ、ロシア・ルーブルへの投資を継続したほか、当作成期中に南アフリカ・ランドからポーランド・ズロチへ通貨を入れ替え、投資を行いました。アジア地域においてはインドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピーに、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルにそれぞれ投資を行いました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。
- ・通貨カバードコール戦略（新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

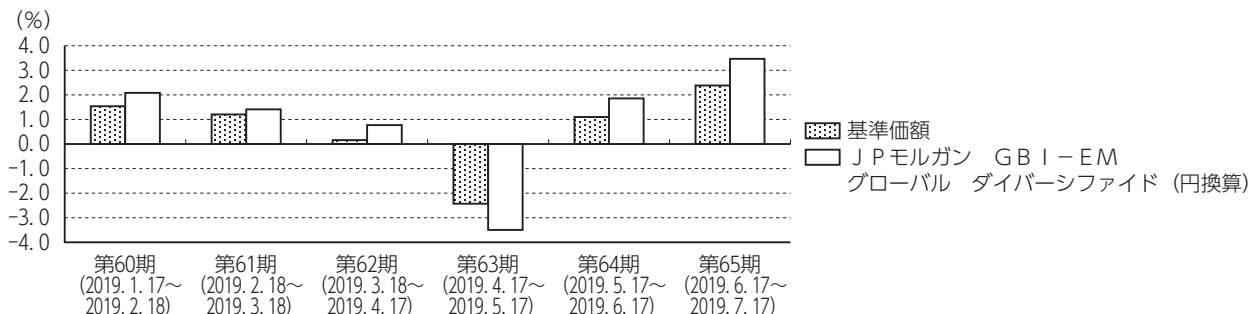
## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	2019年1月18日 ～2019年2月18日	2019年2月19日 ～2019年3月18日	2019年3月19日 ～2019年4月17日	2019年4月18日 ～2019年5月17日	2019年5月18日 ～2019年6月17日	2019年6月18日 ～2019年7月17日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>
対基準価額比率 (%)	0.80	0.79	0.80	0.82	0.82	0.81
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	141	154	164	186	192	203

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 59.12円	✓ 53.11円	✓ 49.46円	✓ 62.08円	✓ 46.59円	✓ 50.91円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	24.58	24.82	25.08	25.37	25.72	26.07
(d) 分配準備積立金	97.98	116.86	129.71	138.89	160.64	166.88
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	181.68	194.80	204.27	226.36	232.95	243.87
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	141.68	154.80	164.27	186.36	192.95	203.87

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第60期～第65期 (2019. 1. 18～2019. 7. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	28円	0. 573%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は4, 941円です。</b>
（投 信 会 社）	(8)	(0. 160)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(20)	(0. 401)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0. 030	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(2)	(0. 030)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	30	0. 607	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

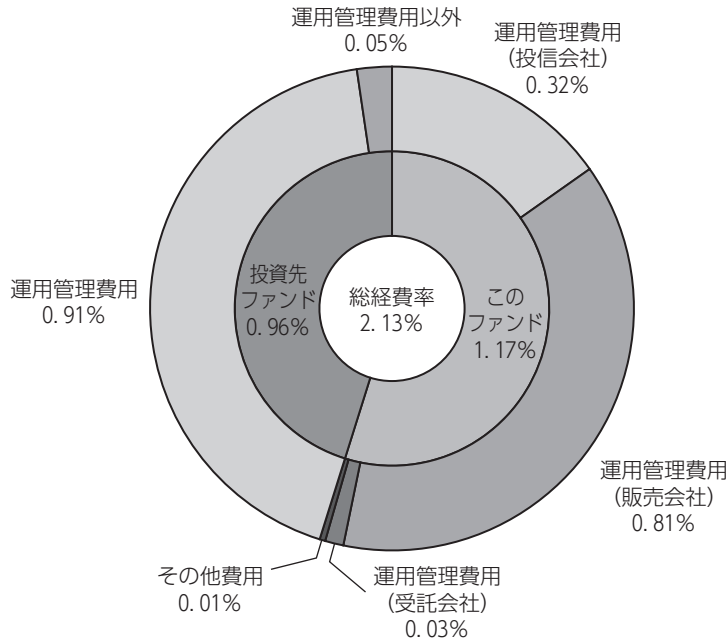
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	2.13%
①このファンドの費用の比率	1.17%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.91%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

### ■売買および取引の状況

#### 投資信託受益証券

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

決算期	第 60 期 ～ 第 65 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	2,749.22601	132,338	5,834.46149	281,436

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 投資信託受益証券

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

銘 柄	第 60 期			第 65 期			
	買 付			売 付			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	126.56626	6,000	47	EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	5,834.46149	281,436	48

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

#### (1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

#### (2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

区 分	第 60 期 ～ 第 65 期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C		
	百万円	%	百万円	百万円	%	
公社債	350	100.0	—	—	—	
コール・ローン	8,322,217	—	—	—	—	
現先取引 (その他有価証券)	119,999	—	119,999	—	—	

平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

#### (3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。



■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 65 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS	35,206.24955	1,684,654	99.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年7月17日現在

項 目	第 65 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,684,654	98.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	97	0.0
コール・ローン等、その他	33,792	2.0
投資信託財産総額	1,718,544	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第59期末	第 65 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	96	96	97

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年2月18日)、(2019年3月18日)、(2019年4月17日)、(2019年5月17日)、(2019年6月17日)、(2019年7月17日)現在

項 目	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,904,772,007円</b>	<b>1,876,355,210円</b>	<b>1,839,073,012円</b>	<b>1,756,576,091円</b>	<b>1,732,461,033円</b>	<b>1,718,544,460円</b>
コール・ローン等	35,767,891	39,377,124	39,464,425	24,180,497	32,542,624	33,792,265
投資信託受益証券 (評価額)	1,868,906,140	1,836,880,119	1,799,510,620	1,732,297,637	1,669,880,452	1,684,654,247
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	97,976	97,967	97,967	97,957	97,957	97,948
未収入金	—	—	—	—	29,940,000	—
<b>(B) 負債</b>	<b>26,214,341</b>	<b>26,880,430</b>	<b>29,781,666</b>	<b>16,677,171</b>	<b>43,235,593</b>	<b>23,610,275</b>
未払金	—	—	—	—	14,970,000	—
未払収益分配金	15,063,745	14,772,438	14,544,719	14,453,402	13,995,008	13,828,189
未払解約金	9,196,708	10,405,674	13,451,753	477,762	12,505,523	8,083,766
未払信託報酬	1,940,362	1,677,114	1,747,790	1,696,762	1,703,977	1,625,884
その他未払費用	13,526	25,204	37,404	49,245	61,085	72,436
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>1,878,557,666</b>	<b>1,849,474,780</b>	<b>1,809,291,346</b>	<b>1,739,898,920</b>	<b>1,689,225,440</b>	<b>1,694,934,185</b>
元本	3,765,936,314	3,693,109,662	3,636,179,857	3,613,350,723	3,498,752,050	3,457,047,420
次期繰越損益金	△ 1,887,378,648	△ 1,843,634,882	△ 1,826,888,511	△ 1,873,451,803	△ 1,809,526,610	△ 1,762,113,235
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>3,765,936,314口</b>	<b>3,693,109,662口</b>	<b>3,636,179,857口</b>	<b>3,613,350,723口</b>	<b>3,498,752,050口</b>	<b>3,457,047,420口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	4,988円	5,008円	4,976円	4,815円	4,828円	4,903円

\* 第59期末における元本額は3,834,474,106円、当作成期間(第60期~第65期)中における追加設定元本額は45,496,631円、同解約元本額は422,923,317円です。

\* 第65期末の計算口数当りの純資産額は4,903円です。

\* 第65期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,762,113,235円です。

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

### ■損益の状況

項目	第60期 自 2019年 1月18日 至 2019年 2月18日 第61期 自 2019年 2月19日 至 2019年 3月18日	第61期 自 2019年 3月19日 至 2019年 4月17日 第62期 自 2019年 4月18日 至 2019年 5月17日	第62期 自 2019年 5月18日 至 2019年 6月17日 第63期 自 2019年 6月18日 至 2019年 7月17日	第63期 自 2019年 7月18日 至 2019年 8月17日 第64期 自 2019年 8月18日 至 2019年 9月17日	第64期 自 2019年 9月18日 至 2019年 10月17日 第65期 自 2019年 10月18日 至 2019年 11月17日	第65期 自 2019年 11月18日 至 2019年 12月17日 第66期 自 2019年 12月18日 至 2020年 1月17日
(A) 配当等収益	23,775,140円	21,120,658円	19,747,873円	24,143,092円	17,813,375円	18,327,189円
受取配当金	23,776,571	21,121,244	19,748,834	24,144,173	17,814,128	18,328,186
受取利息	8	1	1	1	2	3
支払利息	△ 1,439	△ 587	△ 962	△ 1,082	△ 755	△ 1,000
(B) 有価証券売買損益	6,986,685	2,584,323	△ 15,116,151	△ 66,011,678	2,405,505	22,981,435
売買益	7,226,815	2,959,765	257,714	499,517	2,690,324	23,241,877
売買損	△ 240,130	△ 375,442	△ 15,373,865	△ 66,511,195	△ 284,819	△ 260,442
(C) 信託報酬等	△ 1,953,914	△ 1,688,797	△ 1,759,990	△ 1,708,665	△ 1,715,850	△ 1,637,235
(D) 当期損益金 (A + B + C)	28,807,911	22,016,184	2,871,732	△ 43,577,251	18,503,030	39,671,389
(E) 前期繰越損益金	△ 1,758,250,560	△ 1,707,309,448	△ 1,670,485,207	△ 1,668,122,182	△ 1,667,849,060	△ 1,640,025,002
(F) 追加信託差損益金	△ 142,872,254	△ 143,569,180	△ 144,730,317	△ 147,298,968	△ 146,185,572	△ 147,931,433
(配当等相当額)	( 9,258,972)	( 9,168,153)	( 9,122,296)	( 9,170,103)	( 8,999,380)	( 9,015,249)
(売買損益相当額)	(△ 152,131,226)	(△ 152,737,333)	(△ 153,852,613)	(△ 156,469,071)	(△ 155,184,952)	(△ 156,946,682)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,872,314,903	△ 1,828,862,444	△ 1,812,343,792	△ 1,858,998,401	△ 1,795,531,602	△ 1,748,285,046
(H) 収益分配金	△ 15,063,745	△ 14,772,438	△ 14,544,719	△ 14,453,402	△ 13,995,008	△ 13,828,189
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,887,378,648	△ 1,843,634,882	△ 1,826,888,511	△ 1,873,451,803	△ 1,809,526,610	△ 1,762,113,235
追加信託差損益金	△ 142,872,254	△ 143,569,180	△ 144,730,317	△ 147,298,968	△ 146,185,572	△ 147,931,433
(配当等相当額)	( 9,258,972)	( 9,168,153)	( 9,122,296)	( 9,170,103)	( 8,999,380)	( 9,015,249)
(売買損益相当額)	(△ 152,131,226)	(△ 152,737,333)	(△ 153,852,613)	(△ 156,469,071)	(△ 155,184,952)	(△ 156,946,682)
分配準備積立金	44,100,529	48,003,707	50,611,625	58,170,345	58,512,247	61,464,603
繰越損益金	△ 1,788,606,923	△ 1,748,069,409	△ 1,732,769,819	△ 1,784,323,180	△ 1,721,853,285	△ 1,675,646,405

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

### ■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(a) 経費控除後の配当等収益	22,264,957円	19,615,940円	17,987,882円	22,434,426円	16,301,711円	17,600,747円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	9,258,972	9,168,153	9,122,296	9,170,103	8,999,380	9,015,249
(d) 分配準備積立金	36,899,317	43,160,205	47,168,462	50,189,321	56,205,544	57,692,045
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	68,423,246	71,944,298	74,278,640	81,793,850	81,506,635	84,308,041
(f) 分配金	15,063,745	14,772,438	14,544,719	14,453,402	13,995,008	13,828,189
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	53,359,501	57,171,860	59,733,921	67,340,448	67,511,627	70,479,852
(h) 受益権総口数	3,765,936,314□	3,693,109,662□	3,636,179,857□	3,613,350,723□	3,498,752,050□	3,457,047,420□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－  
ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド  
資産成長クラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド 資産成長クラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年7月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

財政状態計算書  
2018年5月31日

**資産**

金融資産（損益通算後の評価額）	\$	29,377,778
現金および現金同等物		920,808
未収：		
利息		429,708
売却済み証券		294
資産合計		<u>30,728,588</u>

**負債**

金融負債（損益通算後の評価額）		40,254
未払：		
受益証券の買戻し		55,225
保管会社報酬		50,675
管理会社報酬		21,464
専門家報酬		18,849
報酬代行会社報酬		9,678
副投資運用会社報酬		7,994
受託会社報酬		2,207
名義書換代理人報酬		17
負債（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）		<u>206,363</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	\$	<u>30,522,225</u>

包括利益計算書

2018年5月31日に終了した年度

<b>収益</b>	
受取利息	\$ 2,544,689
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による純実現損失	(561,991)
外国為替取引による純実現益	16,485
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価（損）/益の純変動	(879,198)
外国為替換算による評価（損）/益の純変動	(44,645)
収益合計	<u>1,075,340</u>
<b>費用</b>	
副投資運用会社報酬	117,543
保管会社報酬	102,378
報酬代行会社報酬	69,954
管理会社報酬	45,001
専門家報酬	18,300
受託会社報酬	18,093
名義書換代理人報酬	3,918
登録料	767
費用合計	<u>375,954</u>
<b>金融費用控除前営業利益</b>	<u>699,386</u>
<b>金融費用</b>	
償却可能受益証券の保有者への分配金	(4,574,842)
金融費用合計	<u>(4,574,842)</u>
<b>分配後および税引前損失</b>	<u>(3,875,456)</u>
源泉徴収税	(157,512)
<b>運用の結果生じた償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少額</b>	<u>\$ (4,032,968)</u>

投資明細表  
2018年5月31日

債券

ブラジル

NOTA DO TESO 10% 01/01/21/BRL/

\$ 3,088,024.81

ブラジル計

3,088,024.81

インドネシア

INDONESIA 8.375% 09/15/26/IDR/

921,703.63

INDONESIA 7.875% 04/15/19/IDR/

2,541,561.71

インドネシア計

3,463,265.34

メキシコ

PETROLEOS 7.65% 11/24/21/MXN/

2,592,730.71

MEX BONOS 4.75% 06/14/18/MXN/

598,440.97

メキシコ計

3,191,171.68

ペルー

BONOS DE T 7.84% 08/12/20/PEN/

3,311,830.83

ペルー計

3,311,830.83

フィリピン

PHILIPPIN 3.875% 11/22/19/PHP/

2,778,588.35

PHILIPPIN 4.625% 12/04/22/PHP/

644,750.69

フィリピン計

3,423,339.04

ロシア

RUSSIA GOV 8.15% 02/03/27/RUB/

763,232.92

RUSSIA GOVT 6.4% 05/27/20/RUB/

957,381.57

RUSSIA GOVT 6.7% 05/15/19/RUB/

1,604,588.66

ロシア計

3,325,203.15

南アフリカ

REPUBLIC O 10.5% 12/21/26/ZAR/

554,539.28

REPUBLIC O 7.25% 01/15/20/ZAR/

2,126,742.99

南アフリカ計

2,681,282.27

国際機関

IBRD 0.5% 08/02/18/ZAR/

623,955.78

国際機関計

623,955.78

<b>タイ</b>	
THAILAND G 3.65% 12/17/21/THB/	1,655,361.05
THAILAND 3.875% 06/13/19/THB/	1,677,429.98
<b>タイ計</b>	<b>3,332,791.03</b>
<b>トルコ</b>	
TURKEY GOVER 11% 02/24/27/TRY/	318,460.81
TURKEY GOVE 8.8% 11/14/18/TRY/	1,920,021.16
TURKEY GOVERN 8% 03/12/25/TRY/	698,431.94
<b>トルコ計</b>	<b>2,936,913.91</b>
<b>債券計</b>	<b>29,377,777.84</b>

通貨αクラス -2018年5月31日現在の仕組スワップ契約の残高：(純資産の-0.1%)

戦略	満期日	取引相手	名目元本	評価額
FX Option Overlay	2018/6/5	Credit Suisse International	\$ 22,754,950	\$ (40,254)

## ダイワ・マネー・マザーファンド

### <補足情報>

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2019年7月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を31ページに併せて掲載いたしました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

（2019年1月18日から2019年7月17日まで）

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	千円 350,004		千円

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

下記は、2019年7月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（66,757,288千円）の内容です。

#### 国内その他有価証券

	2019年7月17日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,998	% <1.5>

（注1）< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。



# ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

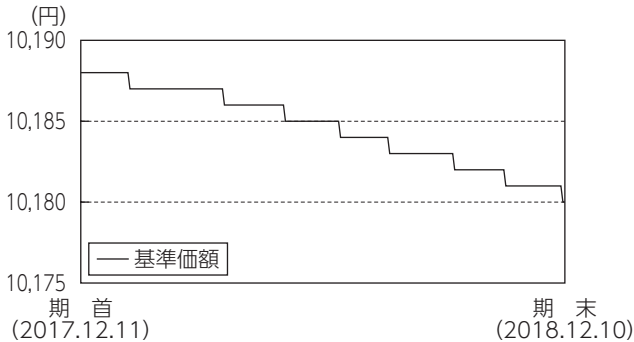
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,188	-	-
12月末	10,188	0.0	-
2018年1月1月末	10,187	△0.0	-
2月末	10,187	△0.0	0.5
3月末	10,186	△0.0	-
4月末	10,186	△0.0	-
5月末	10,185	△0.0	-
6月末	10,184	△0.0	-
7月末	10,184	△0.0	-
8月末	10,183	△0.0	-
9月末	10,182	△0.1	-
10月末	10,181	△0.1	-
11月末	10,181	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,180	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,188円 期末：10,180円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	890,004	(890,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	245,999,587	245,999,594 ( )

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当 期		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	400,002		
731 国庫短期証券 2018/7/10	280,000		
723 国庫短期証券 2018/3/5	210,001		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表  
国内その他有価証券

	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	80,270,040	100.0
投資信託財産総額	80,270,040	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	80,270,040,211円	
コール・ローン等	79,270,042,938	
現先取引(その他有価証券)	999,997,273	
(B) 負債	241,522,286	
未払解約金	240,343,000	
その他未払費用	1,179,286	
(C) 純資産総額(A-B)	80,028,517,925	
元本	78,610,288,449	
次期繰越損益金	1,418,229,476	
(D) 受益権総口数	78,610,288,449口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,180円	

\* 期首における元本額は68,390,547,168円、当作成期間中における追加設定元本額は259,276,972,092円、同解約元本額は249,057,230,811円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワF E グローバル・バリュ- (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワF E グローバル・バリュ- (為替ヘッジなし) 98,069円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/ "R I C I"\*

コモディティ・ファンド5,024,392円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、スマート・アロケーション・Dガード53,768,983円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンド -ハジメの歩- 327,110,605円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ3,941,012,171円、ダイワファンドクラブ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パラダイムシフト- 9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 13,743,005,794円、プルベア・マネー・ポートフォリオV 18,757,636,566円、プル3倍日本株ポートフォリオV 39,796,042,643円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 1,364,716,363円、ダイワF E グローバル・バリュ-株ファンド (ダイワSMA専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー (ポートフォリオ121,376,415円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり) 145,491,182円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 米ドルコース285,029円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 日本円コース144,570円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 通貨αコース677,850円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,747,902円、D Cスマート・アロケーション・Dガード4,510,003円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,180円です。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 53,286,101円
受取利息	18,213
支払利息	△ 53,304,314
(B) その他費用	△ 8,395,849
(C) 当期損益金(A + B)	△ 61,681,950
(D) 前期繰越損益金	1,286,098,991
(E) 解約差損益金	△4,593,187,480
(F) 追加信託差損益金	4,786,999,915
(G) 合計(C + D + E + F)	1,418,229,476
次期繰越損益金(G)	1,418,229,476

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。